

血液内科

血液内科：1年次必修研修および2回目の選択研修

指導医：血液内科部長、血液内科医長、指導医の資格のある医師

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医師、および臨床経験7年以下の血液内科医師

指導者：病棟看護師長、内科外来専従看護師

●一般目標（GIO）

血液疾患全般の基本的知識、臨床応用能力、態度を習得し各専門的医療に進むための基礎を築く。

●行動目標（SBOs）

- ・ 患者およびその家族との信頼関係を確立することが出来る。
- ・ 他職種を含めたチーム医療を理解し、その中で指導医、上級医と共に医師としての役割を果たすことが出来る。
- ・ 血液疾患の病理、病態生理を理解出来る。
- ・ 問診、身体診察を含む非観血的診断スキルを身につけ、総合的診断能力を養う。
- ・ 血液疾患の初期診断、および治療に必要な知識・技術を習得する。
- ・ 血液疾患における検査手技、臨床検査の実施及び評価、治療手技、薬物療法（輸液療法も含む）（別記）を理解し習得する。
- ・ EBMに基づくを行うための情報収集、技術講習を通じ、積極的に自己啓発に努めることが出来る。
- ・ 地域中核病院にて診療に従事する重要性を理解、自覚し、地域チーム医療としての病院連携を図ることが出来る。
- ・

●方略

<病棟業務>

- ・ 血液疾患患者を指導医、上級医と共に担当する。
- ・ 担当患者の問診および身体所見をとり、指導医、上級医とともに検査計画、治療計画を立てる。
- ・ 担当患者の血液検査（採血等）、骨髄穿刺といった各種検査にできるだけ付き添い、検査を見学および状況に応じて指導医のもとで検査を施工する
- ・ 指導医、上級医とともに必要な生活指導を入院患者およびその保護者に行い、診療内容・説明内容をカルテに記載する。
- ・ 機会があれば、気管内挿管、動脈ライン確保といった手技も経験する。
- ・ 担当患者に関わる書類（他院への診療情報提供書、入院証明書など）の作製を経験する

<外来業務>

- ・ 血液内科外来にて、別記してある領域的研修内容の疾患を指導医、上級医とともに経験

する。

- ・ 臨床研修 2 年目の研修医においては、問診、診察、検査オーダー、評価、処方といった「一般外来」診療を経験する。
- ・ 外来患者の血液検査、骨髄穿刺などの検査にできるだけ付き添い、検査を見学および状況に応じて指導医のもとで検査そのものを実践する。

<基本的検査手技および治療手技>

- ・ 後述する検査手技、治療手技を、当初は見学からはじめ、慣れた頃には、指導医、上級医の指導のもと施行する

<コンサルテーション>

- ・ 他の診療科からのコンサルテーションに対して、指導医、上級医とともに対応する。
- ・ 担当患者が他科受診する際には、指導医、上級医の指導のもとで院内紹介状を記載する。

<カンファレンス>

- ・ 毎週 2 回の症例カンファレンスに参加し、担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ・ 入院患者の退院前カンファレンスや他職種カンファレンスに参加する。

<研究会、学会、学術活動>

- ・ 研究会、学会に指導医とともに参加し必要に応じて発表する。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
8:30	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
～	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
12:00	(一般外来)	(一般外来)	(一般外来)	(一般外来)	(一般外来)
13:00	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
～	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
16:00		血液 C.C		顕微鏡 C.C 血液 C.C	(専門外来)

●評価

- ・ 病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・ 評価者は、指導医、指導者（病棟師長、外来看護師）が行う。
- ・ 研修医からの評価も施行する。

●参考資料

<基本的検査手技および治療手技>

1. 基本的検査手技
 - 1) 骨髄穿刺
 - 2) 腰椎穿刺
2. 臨床検査の実施と評価

- 1) 一般血液検査、血液像
 - 2) 尿、便一般検査
 - 3) 血液生化学検査
 - 4) X線検査（単純、造影、CT、MRI）
 - 5) 心電図
 - 6) 骨髄液の一般検査
 - 7) 細菌培養検査
 - 8) 凝固学的検査
 - 9) 染色体異常
3. 基本的治療手技
- 1) 骨髄穿刺
 - 2) 腰椎穿刺
 - 3) 中心静脈カテーテルの挿入（含む PICC カテーテル）

・ <血液内科領域の研修内容>

血液疾患

代表的な疾患について鑑別診断と治療を行う